

新潟市農福連携事例集



農業を元気に
福祉を元気に
地域を元気に

新潟市あぐりサポートセンター



(株)ベジ・アビオ

作付品目

高糖度トマト・野菜苗

主な作業内容

トマト栽培作業
包装作業



農業者さんの言葉

福祉事業所と連携して3年目となります。

週2回2時間と限られた時間ですが、作業予定に合わせて温室作業や選別・包装作業などを行っていただいています。

最初は利用者の方とどのように接すればよいか不安もありましたが、事業所職員が同行しているのでスムーズに作業を進めることができました。

それぞれの作業に慣れるまではゆっくりでしたが、その分、丁寧な仕事をしていただいています。また、繰り返し作業を依頼していくうちに作業ポイントも理解していただけ、細かな指示をしなくても作業を進めることができるようになってきています。

今後、労働力の確保が難しくなってくると思うので、農福連携を一つの戦力と考えています。利用者の方が働きやすいように、作業の細分化や職場環境の整備を進め、将来的には雇用へと繋げていけるようにしたいと思っています。

(令和元年11月時点)

(株) アグリライフ



作付品目

稲作：不耕起栽培・減農薬栽培

畑作：長ネギ・小松菜・さつまいも・じゃがいも・里芋・人参

青果仕入販売事業

主な作業内容

青果のピッキング補助
(不定期で週4回くらい)

長ネギの調整作業(繁忙期のみ)



農業者さんの言葉

長ネギの調整作業では、10～12月のみ、作業依頼しています。わからないこと等は都度、細かく確認してもらえるのでとても安心感があります。

青果のピッキング補助はFG袋という小袋に入った小松菜やほうれん草を大きなポリ袋に移し替える作業です。数量の多少等に関わらず、休むことなく作業を行っていただいています。立ちあうことなく丁寧な作業をしていただけているので大変助かっています。

これからもお互いにとって良い関係を継続していきたいと思っています。

(株)サンクスファーム黒鳥

作付品目・加工品目

水稲・枝豆・ブロッコリー・
加工用たまねぎ・餅・きな粉

主な作業内容

育苗箱の洗浄、水稲・枝豆圃場
の除草、パッケージシール貼り



農業者さんの言葉

現在、3事業所と連携し繁忙期(4~11月くらい)に各事業所(週1~2回)作業依頼しています。

作業内容が確認できた後は、任せて自分たちは別の仕事をする事が多いです。今まで後回しにしていた作業をお願いすることで、他の作業に集中できます。仕事が効率化できたことで、繁忙期でも計画的に休日をつくれるようになり助かっています。

今後は、さらに利用者さんがやりがいを感じて作業が出来るような連携を継続していきたいと思っています。

(令和元年11月時点)

農福食連携事例紹介



つくルコト・たベルコト・つながルコト・いきルコト

新潟で大切に栽培された農産物、形や色の悪さから流通されない規格外品を無駄にすることなく、すでにあるものを活かしながら新たな価値を生み出す【やさしくおいしい循環】と様々な社会問題解決につなげるプロジェクト。

担当者の言葉

7年前から福祉事業所の既存の設備と利用者さんの個性を活かして色々な方が関わられるような加工作業をお願いしています。旬の食材の色や香りを感じながら加工作業を行うことで、食材や調理に興味をもってもらえたらと思っています。福祉事業所の職員さんから『新しいことへのチャレンジや得意作業の発見につながっている作業です』と話をお聞きした時は嬉しく感じました。規格外農産物を、福祉事業所の力も借りて大切に活かして加工し、地域の中で循環する仕組みにできたらと考えています。

依頼作業内容

むき作業(枝豆、玉ねぎ)
へた取り・冷凍保存(梅、越後姫)
加熱加工(トマト、桃、いちじく、ル・レクチェ・玉ねぎ)
ドライ加工(各種)



加工農産物

枝豆、玉ねぎ、トマト、桃、梅、越後姫、いちじく、ル・レクチェ



(令和元年11月時点)



作付品目

水耕レタス栽培

主な作業内容

水耕栽培用資材の洗浄
播種・苗の移植
出荷準備(収穫・梱包)
施設内清掃等



あきは農場

農業者さんの言葉

障がいのある方とは、これまで接点があま
りなかったので接し方であったり、仕事を任
せて大丈夫なのかという不安面だけが大き
かったです。実際に一緒に作業してみると
最初は上手くできなかったことでも、繰り返
し伝えたり、少しフォローをすることで、こ
ちらが思う作業を行ってもらえると実感しま
した。また、真面目に仕事に取り組む姿に好
感を持ち、新しい作業を覚えて喜ぶ姿や休憩
時間に雑談する姿を見ると、こちらも嬉し
くなります。

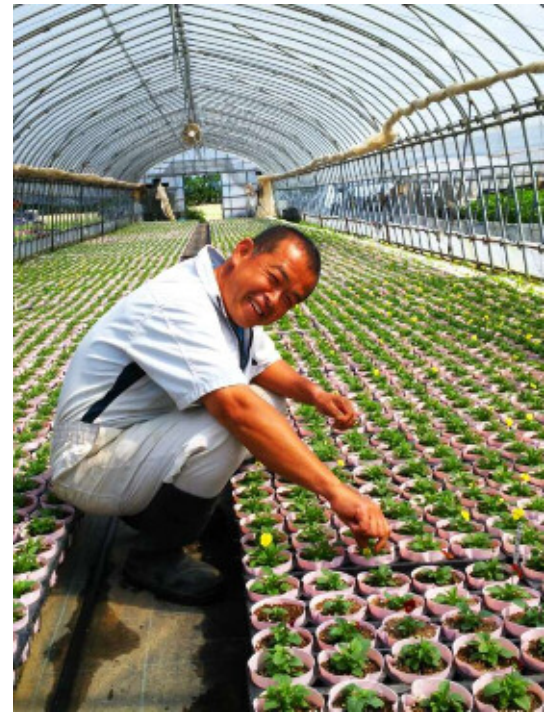
また、休みがちな利用者さんが、「こちら
での作業日は休むことがない」という話
をお聞きした時は、【皆さんのやりがい
や喜びに繋がっている】と感じ、受け
入れを決断して本当に良かったと思っ
ています。

今では作業手順を把握し、指示がな
くとも自発的に動いてくれているので、
貴重な戦力です。今後も双方にとって
良好な関係を続けていきたいと思っ
ています。



(平成30年8月時点)

畑や かとうふあーむ

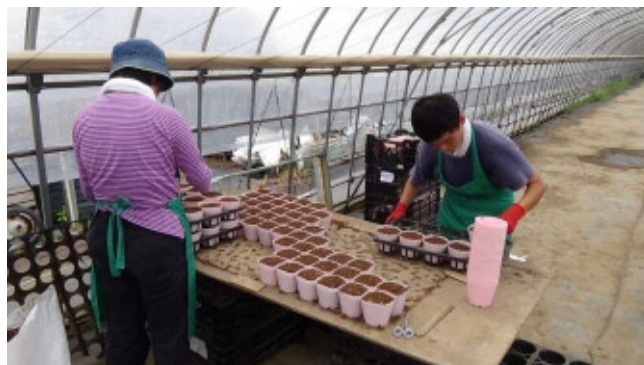


作付品目

花苗

主な作業内容

土詰め・肥料入れ・苗鉢移動・片付け等



農業者さんの言葉

現在、2事業所と連携しています。職員が必ず一緒なので安心して作業を任せることができています。初めて行う作業以外は、作業内容の確認ができれば、後は任せて自分は別の仕事をしています。様々な作業を自分で行う作業と頼む作業に分けて計画をたて進めています。

また、育苗用資材の洗浄・ラベル作成等を福祉事業所内作業として依頼しています。お互いの困り事を確認し合えるようにコミュニケーションを大切にし、今後も長く良い関係を続けていきたいと思っています。

(平成30年8月時点)



農事組合法人

エフ小杉

作付品目

水稻・露地栽培を中心にした園芸作物

主な作業内容

園芸作物の管理作業または収穫作業など

農業者さんの言葉



福祉事業所と連携して3年目になります。露地野菜の植え付けや収穫作業を主にお願っていますが、事業所職員が同行しているので、安心して任せられるため、自分は別の作業をしていることが多いです。地味な作業でも、根気良く丁寧に行ってもらえ大変助かっています。「外で作業すると気持ち良い」と笑顔で作業している姿をみると、こちらも嬉しくなります。福祉事業所が自ら農業を始める思いがあれば、できる限りアドバイスしたいし、特定の作物を管理・収穫だけ任せで行ってもらうのも良いかと考えています。お互いの気持ちを伝えあいながら、良い関係を続けていきたいと思っています。

(平成30年8月時点)



健幸食品 (株)

作付品目

小松菜(ハウス栽培)・キャベツ・長ネギ等露地野菜

主な作業内容

小松菜の収穫作業・露地畑の除草作業等



農業者さんの言葉

現在、3か所の福祉事業所と連携し、冬期間以外で小松菜の収穫を主に作業依頼しています。

収穫量が多い時に大勢の方に作業していただくことができ、助かっています。複数の事業所に依頼しているため、作業量のバランス等、ルール作りの必要性を感じています。

(平成30年8月時点)

カーブドッチワイナリー
(有)角田山農園

作付品目

ワイン用ぶどう

主な作業内容

除草・除葉・誘引等の管理作業
ワインぶどうの収穫作業



農業者さんの言葉

4年前、1か所の福祉事業所に除草作業を依頼したのが連携のはじまり。その後、連携する福祉事業所の数を増やしながら、依頼作業も収穫・除葉・肥料散布等と内容の幅を広げることができてきています。

ワインぶどうの栽培では、味や香りに関わりのある手仕事が多くあります。作業効率も考えながら、自分たちで行うべき作業と依頼する作業を分けることで、適期に必要な作業を実施できるようになり、品質の向上に繋がりました。

複数の事業所と繋がっていくためには、検討していく課題もあるが、互いにとってメリットのある関係を続けていきたいと思っています。

(平成30年8月時点)



作付品目

トマト

(株) 曾我農園

主な作業内容

- ・トマト加工品のラベル貼り
- ・トマト袋、トマトパックのシール貼り
- ・出荷用の箱折り
- ・トマトのヘタとり
- ・トマトの選別と整理

農業者さんの言葉



2時間と決まった作業時間のなかで、内勤でさまざまな仕事を手伝っていただいています。

最初は作業がゆっくりでも徐々に慣れていくことで、スピードと精度も上がってきました。今では状況を判断して自主的に動ける利用者さんも出てきており、その成長は私たちにとっても嬉しいことです。

農福連携を始めて5年になりますが、これまで続けてこれたのは福祉事業所との信頼関係と連携があつてこそだと思います。問題が起きた時はそのままにせず、連絡を取り合い、解決方法を一緒に考えることが何より大切です。

今後は、やる気と根気のある利用者さんに対して、パートなどの雇用へと繋げていけるよう引き続きサポートしていきたいと思っています。



(平成30年8月時点)



たなか農園

作付品目

水稲・大豆・露地野菜・味噌加工

主な依頼作業内容

水稲育苗箱の土入れ、育苗ハウスの準備作業、畑の除草作業

農業者さんの言葉

人手が多くいるとはかどる仕事を中心に頼んでいます。事前に、同行の福祉事業所職員さんと連絡を取り仕事を任せ、自分たちは別の仕事をすることもあります。障害のある方も健常者と変わらない動きをされる方も多いため、人手が必要な時に頼るところとして助かっています。



(平成30年8月時点)

チュラ 農園 CuRA!

作付品目

ハーブ・在来作物

主な作業内容

栽培作業全般・収穫作物の加工製造



農業者さんの言葉

『一から全て』をCuRA!の方針として、播種→作付け→除草→収穫・圃場管理、と栽培の一連作業および加工センターを利用しての収穫物を加工する作業、包装作業など、すべての作業を共同作業で行っています。

直ぐには難しいですが、イベントなどでの販売作業も、先々一緒にやれるようになりたいです。

『一流のものを一流の店に！』福祉の世界を飛び出して、どんどん外に向けて一緒に作ったモノを発信していきたいと思っています。

デザイン・ラッピングまで、個性を活かしたシリーズ作りも夢です。



(平成30年8月時点)

作付品目

大豆

主な作業内容

大豆加工品製造

農業者さんの言葉



加工設備をもっている福祉事業所に大豆の加工品製造を依頼しています。設備や作業経験は事業所により差があるので、こちらの希望と施設の特徴が合えばスムーズに事業は進んでいくと感じました。大量発注が出来ないこともあるようです。【福祉と農業】長く良い関係が続けるには、互いが営利活動を行っていることを忘れずに付き合うことが大切なのではと感じています。



大豆フムス



焼き菓子



納豆

(平成30年8月時点)

施設外作業として農作業行っている

福祉事業所の“声”

- 👉 これまで、内職作業が主であったが、農作業を行うことで作業の幅がひろがった。
- 👉 屋外の作業が向いている利用者が、のびのびと作業を行う姿を見ることができた。
- 👉 除草や収穫が主な作業で、任せていただいている。他の作業で難易度が高い作業については、作業工程の切り出しを検討していただいている。
- 👉 利用者の名前を覚えていただいたり、施設外の方と接する良い機会になった。
- 👉 施設独自で畑作に取り組んでいたが、より専門的な経験ができて良かった。



地域活動支援センター

ささぐち

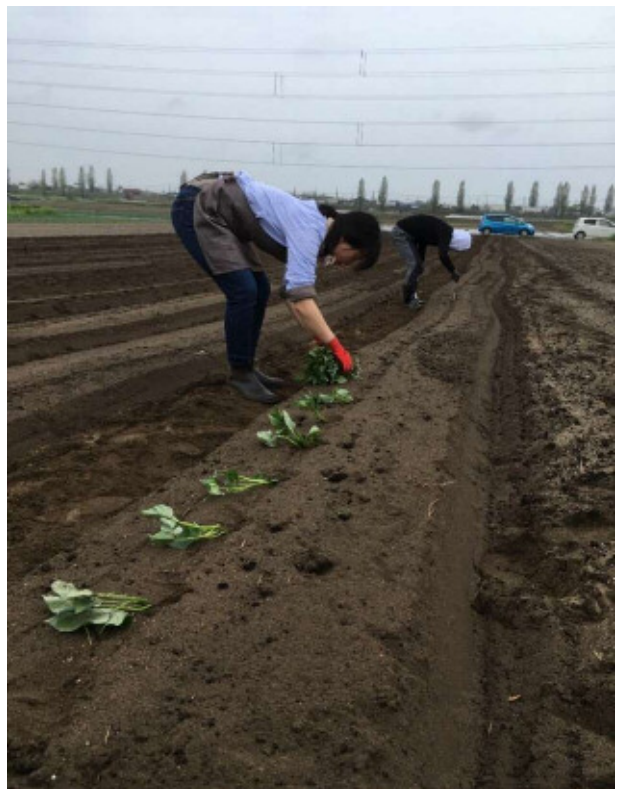
3か所の農家と複数年、連携しています。農家から繁忙期に連絡をいただき日程調整し、作業に出向いています。



今までに実施した作業は、除草・野菜の定植・収穫・不良果実の除去・果樹の袋掛け等です。

不良果実の除去は、収穫前のワイン用ぶどうの房から、不良な粒を取り除きます。この作業を始めて数年になりますが、未だに、取って良いか迷う粒もあり、複数年行っていますが、難しい作業と感じています。

ですので、農家から「よくできています」の一言が頂けた時は、ほっとします。





利用者が農家に出向き、作業を行うようになってから、体力が付き健康になり、生きいきとしてきました。

また、集団行動ができるようになったことや、工賃が向上したことも良かったと思います。

複数年継続してきたことで、作業日程に合わせて、体調管理ができるようにもなりました。



農家の方が親切で丁寧なこともあり、利用者は作業に行くことを楽しみにしています。

今後も定期的な作業ができるように、取り組んでいきたいと思っています。



就労継続支援B型 ジョブズ



現在4か所の農家へ出向いて作業を行っています。当初は繁忙期のみがほとんどでしたが、複数年継続することで、繁忙期以外の作業も提供していただけるようになりました。事前に『こんな作業はできますか？』と連絡をいただき、実際に作業内容を見ながら相談させてもらう事が、複数年の継続につながっていると感じています。

農福連携をしたことで、作業の幅が広がり、利用者から『達成感を感じます！』等の声が聴かれることもあります。また、施設外の方と接することで、きちんと挨拶ができるようになり、良い経験となっています。



除草や定植、収穫、ハウス内清掃等、幅広く作業を行っていますが、農作業に対応できる利用者は、天候の変化(暑さや寒さ)にも対応できるような体力のある方に限られています。



反対に、天候に左右されないハウス等の屋内作業や、そら豆の皮むきの様な座ったままできる作業では今まで農作業に関わることがなかった利用者也参加することができました。

複数年継続して連携する農家が増え、また年を重ねる度に、依頼作業が増えています。それぞれの農家により、求められる作業技術、作業量、スピード等は様々ですが、利用者個々に適した作業内容を見極め対応し、利用者、支援者が共に積み重ねた結果と嬉しく思っています。また作業現場で、利用者も一緒に相談し進めることも多くなり、頼られていることを感じ、意識向上につながっています。

今後も、様々な経験、技術習得の実績を重ねていくことで、さらに利用者の自信につながる様、継続していきたいと思っています。

就労継続支援A型 ファースト



平成27年から農福連携を始め、9か所の農家で様々な作業経験を重ねてきました。現在では3カ所と継続的な連携をしています。繁忙期等、人手が必要な時に連絡を取り合い作業に出向いている農家が2か所で、1か所とは複数年継続しているなかで作業の幅が広がり信頼関係も築けてきたことから、現在は通年(ほぼ連日)、作業に出向いています。

農業について何もわからない状態から、利用者、職員が一つ一つ確実に積み重ねてきたことが、現在では事業所全体の自信につながる大きな柱となっています。



農福連携により、利用者は体力が付き、作業経験を重ねることで自信につながりました。また対人関係スキルも自然なカタチで向上していると感じられ、合わせて就労収入も向上しています。

経験した作業内容は幅広く、単純作業から判断を必要とする作業まで、様々な作業経験をしています。

そのなかで、重い物を運ぶなど力のいる作業は、対応できる方が限られると感じました。



年々、農家からの作業依頼、作業単価は向上しています。それは利用者、支援員が共に経験を重ね、確実な作業提供をすることで農家から評価を頂けるようになった結果と受け止めています。



今後も農福連携を通して色々な作業経験、実績を重ね、農家にとって頼りになる存在になること、それをさらに就労収入向上につなげることを、事業所の目標にしています。

社会福祉法人 更生慈仁会 麦つ子ワークス

施設内、施設外の作業を農家から請け負い行っています。複数の農家と連携していますが、それぞれの農家とスムーズに作業が行えるように、その時々作業状況を確認しながら連絡を取っています。



複数の事業所が関わっている農家とは、窓口となる事業所と連絡を取ることで作業を実施しています。



農業に関わることで作業の幅が広がり、利用者の適性に合わせた作業提供を考える中で、既存作業では不十分だったニーズに対し、作業内容の選択肢を増やすことができ、良かったと感じています。

これまでに経験した作業内容は
収穫作業・加工作業・パッケージシール貼り・育苗ポット洗浄等です。



大きさや重さ、形、色合い等、見た目を判断する作業（白か黒ではなくグレーが存在する作業）については利用者への伝え方が難しく、参加できる方が限られました。

利用者の方々に、
地域貢献・社会貢献の場を提供できることが農福連携の強みと感じています。



農作業を通じて学ぶことはとても多く、
これまで農作業を継続してきたことで利用者、職員共に成長することができたと感じています。特に挨拶など、外部の方と関わりを実践できる機会はあまりないので、とても良い刺激になっており、継続したいと思っています。



社会福祉法人 親和福祉会
けやき福祉園

農業との関わりは、施設外作業としては平成26年から農家に出向いて作業を行っています。現在は、週に1回ですが、利用者にとって施設外で働くということは、とても貴重な経験になっています。職員も農家からの信頼を失わないよう丁寧な作業を心掛けています。



行う作業はレタスの水耕栽培での播種、苗の移植、収穫、袋詰め、器具の洗浄、施設内の清掃です。限られた時間の中で一連の作業を行います。経験を重ねた利用者も多く、細かい作業もありますが、集中して丁寧に手際よく行っています。



利用者は、施設内でも様々な作業体験活動を行っていますが、施設外といういつもと違う環境の作業は、程よい緊張感を持つことができていると感じます。



また農業に関わる経験は、生活の豊かさにもつながっていくものと感じています。



利用者がさらに様々な経験ができるように、施設外で連携できる農家を増やしたり、施設にあるハウスでの育苗作業等も農家の依頼を受けながら増やしていきたいと思っています。

社会福祉法人 白蓮福祉会

ワークセンターまめの木



複数の農家から繁忙期に作業依頼をいただき、出向いて作業を行っています。



農業に関わる作業を利用者に提供していく中で、農業者とのふれあいをとっても新鮮に感じている様子が見られます。初めて作業依頼があった後、毎年ご連絡をいただけることが多くあり、事業所にとって有難いことと感じています。また、作業依頼が、繁忙期にスポット的だった内容から、一年を通し様々な作業を依頼されるようになったことで利用者は任せてもらっていると実感でき、それが励みとなっています。



作業をする中で、利用者が解りやすいように、作業範囲をテープで印したり、計量数を紙に書いて提示するなどの準備が事前にあった時は対応しやすいと感じました。しかし繁忙期などで、すぐに対応できる利用者に限られて出向くことになったときは、できるだけ多くの利用者に様々な作業を経験してほしいと思っていたため、急な対応の難しさを感じました。

作業内容は、
水稲・果樹・野菜等、
農家により栽培品
目も異なっており、

- ・果樹の枝拾い
- ・落ち葉集め
- ・受粉・袋掛け・収穫
- ・トマトの計量・袋詰め
- ・にんにくの分割作業
- ・枝豆選別・除草
- ・水稲の苗箱洗い
- ・もみ殻の袋詰め

など、
様々行っています。



今後も農業との関わりを継続し、将来は地域の障がい者施設と協力して農家の代行ができるようになっていきたいと考えています。

メイプルかめだ

施設外での請負作業として、5か所の農家と連携しています。一年を通し、連日のように作業に出向く農家、繁忙期のみの農家と受注頻度は様々ですが、複数年での委託契約をしています。

繁忙期のみの作業に入る農家とは、時期になると連絡を取り合い継続しています。

定期的に作業に入る農家さんには、担当者を決め、作業に関する内容の確認などを日々電話連絡などで行っています。



農家へ出向いて作業することで、施設内作業とは違い、身体を動かすことが多くなり、以前より体力がついてきたと感じます。



また実際、外に出て工賃を得ることの大変さを感じたり、作業での達成感、充実感を得ることができています。

あわせて、利用者は農業者と接することで社会とのつながりができています。



現在までに行った作業では
野菜栽培での補助作業として、
畑での除草や収穫、選別、計量、
袋詰め等のほか、
水田の除草作業、苗箱洗い等
も経験しました。



水田での除草作業では、イネに
似た草だったため除草していい
かどうかの判断が難しいと感じ
ました。

また、夏の炎天下で
の作業は、疲労が溜
まりやすく、作業がな
かなか進まないこと
や熱中症の恐れもあ
るので、利用者の体
調管理に気を配り対
応しないといけない
と感じました。



令和元年から、施
設外就農を事業所
の作業の中で柱と
考え、取り組んでき
ました。



様々な環境で作業することで、利用者も外
に出て作業することの大変さを感じると同
時に、今まで経験したことのない作業を行
うことから達成感を得ることができ、自信
をもって作業に取り組んでいる様子が見ら
れています。また、農家からも少しずつ評
価をいただき、信頼関係ができてきている
と感じられるようになりました。

障がいがあっても可能性を広げることがで
きるという思いを大切に、今後も取り組ん
でいきたいと考えています。

社会福祉法人 とよさか福祉会

豊栄福祉交流センター クローバー

平成28年頃から農福連携を始め、現在は農業者から依頼のあった圃場へ出向いて作業を行うほか、事業所内での作業として食品加工作業や出荷前準備作業を受託しています。

農業者とこまめに連絡を取り合うことを大切にし、作業日程調整や新規作業の掘り起こし、新商品の共同開発なども行っています。

農福連携のメリットは、工賃向上、やりがい・達成感を得られること、多くの利用者が携われることです。また地域の方との関わりや評価をいただくことでモチベーションが上がり、障がい理解にもつながっていると感じています。



雨天時、炎天下、早朝、夕方などの作業については利用者の通所時間や体調管理を考え、対応が難しくお断りすることもありました。また、不慣れな作業では効率よく作業を行うことができず、農業者の方に迷惑をかけていないか不安になることがありました。しかし、こまめに連絡・確認を行い、実績を重ねることで不安が自信に変わり、今では利用者、職員共に作業を楽しんで行っています。



施設外作業の内容は、耕作放棄地を活用したひまわり栽培での、種まき、刈り取り、脱穀、選別（種とごみの仕分け）等です。

事業所内での受託作業としては農産物の袋詰めやシール貼り等を行っており、こちらは多くの利用者が携わることができる作業となっています。

また食品加工では、養蜂家と連携しハチミツの瓶詰めや加工品製造を行っています。



事業所として、農福連携を継続していき、農業者からは『クローバーに作業依頼して良かった。次回もお願いしたい』と感じていただけるように、利用者には『もっと畑に行きたい！』と感じてもらえるように支援を行っていきたいと思います。

(令和2年11月時点)

新潟市 あぐりサポートセンター

障がいのある方が農業で活躍されています



全国的に注目されている **農福連携**

農業分野では、人手不足の解消や耕作放棄地の活用が、障がい福祉分野では、職域を拡大することが期待されています。新潟市内でも、様々なカタチで農福連携の取り組みが行なわれています。

新潟市あぐりサポートセンターでは

農業者と福祉事業所が『継続的な連携ができるよう、相互理解を深める取り組み』を行っています。

- ◆施設外就農マッチング
- ◆農業現場での就職に関する相談・調整・支援
- ◆農業体験・実習等の相談・調整
- ◆農福連携の啓蒙活動(イベント参加・セミナー開催等)



連絡先

住所/新潟市中央区八千代1-3-1 新潟市総合福祉会館1階
電話/025-256-8383 FAX/025-256-8824
窓口受付/火曜～土曜(祝日・年末年始を除く)8:30～17:15
Eメール/aguri@atago.or.jp